

## 鳥取環境大学における公立化前後の収入構造の比較

(千円)

運営形態	私立(現行)充足率54% (H21年度決算額)		私立 充足率100% (H29年度試算額)※1		公立化後 充足率100% (H29年度試算額)※2	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
学生等納付金収入計	791,427	49.5%	1,242,518	81.0%	634,844	36.0%
授業料 ※3	749,802	46.9%	1,171,018	76.3%	572,240	32.4%
入学金	41,625	2.6%	71,500	4.7%	62,604	3.5%
補助金等収入計	189,352	11.8%	200,000	13.0%	1,055,399	59.8%
補助金収入 ※4	189,352	11.8%	200,000	13.0%	20,000	1.1%
運営費交付金 ※5					1,035,399	58.7%
その他収入 ※6	133,834	8.4%	92,003	6.0%	74,906	4.2%
内部留保金取り崩し	484,689	30.3%				
計	1,599,302	100.0%	1,534,521	100.0%	1,765,149	100.0%

※1 私立試算の条件 (鳥取環境大学による試算)

・私立での運営継続

※2 公立化後試算の条件 (県による試算)

・交付税単価は過去5年間の減額率の平均値(約2%)を用いて毎年度減少

・運営費交付金は、交付税措置額全額で算定

※3 授業料は、私立(現行)1,000~1,300千円、公立化後535千円で算定

※4 補助金収入は、私立大学に対し国から交付される私立大学等経常費補助金及びその他の研究補助金

※5 運営費交付金は、公立大学法人に対し設立団体から交付される交付金(国から設立団体に交付税措置がある)

※6 その他収入は、手数料収入・寄付金収入・資産運用収入・資産売却収入など

